

畜産物中の放射性物質の安全性に関する文献調査 報告書



2012年3月

東京大学大学院農学生命科学研究科
食の安全研究センター

目次

はじめに.....	1
I. 調査対象とした家畜及び畜産物について	3
1. 日本における畜産の概況	3
2. 畜産物の価格概況	5
3. 家畜と飼料について	12
II. チェルノブイリ原子力発電所事故関連データを参考にすることにあって.....	15
1. チェルノブイリ事故および東電福島原発事故の概要	15
2. 東電福島原発事故を考察する場合の注意点等	19
III. 畜産物中の放射性物質に関する過去の知見.....	20
1. 畜産物中の放射性物質濃度について	20
2. 畜産物からの放射性物質低減策	41
3. 畜産物の摂取量	46
4. チェルノブイリ事故後、事故に関連した各国の対応等	48
IV. 各国・国際機関における規制・基準値	60
1. 日本における規制・基準値	60
2. 海外等における規制・基準値	63
3. チェルノブイリ事故以後の規制・基準値の変遷	66
V. 東電福島原発事故と畜産物	69
1. 畜産物に関して取られた対応.....	69
2. 畜産物(牛肉、牛乳、豚肉、鶏肉、鶏卵、(飼料))中の放射性物質濃度.....	88
3. 東電福島原発事故後のモニタリングデータ(大気、水、土壌)、文科省のサーベイランスデータ	89
VI. 参考情報.....	90
1. 東電福島原発事故前後の我が国の人工放射性降下物	90
2. 配合飼料等の暫定許容値	91
VII. 参考文献等	93
1. 本文中で引用等した文献一覧(掲載順).....	93
2. 濃度リストで引用した文献	96
VIII. 添付資料.....	102
IX. 調査実施体制	103
添付資料1 文献リスト	
添付資料2 注目文献の概要	
添付資料3 Environmental Consequences of the Chernobyl Accident and their Remediation: Twenty Years of Experience, IAEA(2006)”の仮訳(畜産物関連部分抜粋)	